

食の幸せのとなりに。

2022年3月期 決算説明資料

ブルドックソース株式会社 (2804)

2022年5月26日



ブルドックソースは
創業120年を迎えます

1. 2022年3月期決算について ————— P. 3
2. 2023年3月期業績予想および施策 ————— P. 9
3. 中期経営計画「B-UP120」 ————— P. 16
4. 会社概要 ————— P. 28



ブルドックソースグループは、ガバナンスを強化し、組織力を高めるためにプライム市場を選択致しました。

今後も皆様のご期待にお応えできますよう、自覚を新たにさらなる企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



1. 2022年3月期決算について

2022年3月期実績

- 売上高は133.0億円
 - 家庭用商品98.9億円
 - 新型コロナウイルス感染症による前期の内食需要急増の反動のため低調に推移
 - ドレッシング定番店舗数は前期比12.5%減、ノンオイルドレッシング市場縮小によりイカリソース「野菜のドレス」シリーズ売上前期比11%減
 - 2022年2月ブルドックソースから新発売の「&Bull-Dog たっぷり薬味焼肉のたれ」計画比142%増
 - プロモーション活動強化。商品パッケージからホームページ特設サイト（レシピ）への誘導により、10万PV数を達成
 - 業務用商品34.1億円
 - 中食・テイクアウト向け商品の売上前期比16.3%増、好調に推移
 - 海外輸出向けとんかつソース1.8Lの売上前期比90.1%増、好調に推移
- 営業利益は原料高騰等により前期比9.6%減の6.5億円
- 経常利益は投資有価証券売却等により前期比2.9%増の10.1億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比3.3%増の7.1億円
- 重要な取り組み
 - 【館林工場】生産体制再構築基本実施設計施工契約（第二次）締結
 - 新棟建設、既存棟改修、ソース類及びその他調味料類の生産設備新設・移設・改修他、その他関連工事
 - 着工：2022年4月 完成予定：2023年12月
 - 総投資額 約85億円
- その他トピック
 - シニア社員制度導入（2021年4月）
 - IRサイトをリニューアル（2021年7月）
 - 食品ロス削減に向けた「年月」表示へ取り組み開始（2021年12月）
 - 指名報酬委員会の設置（2021年12月）
 - 「ブルドックソースグループSDGs宣言」制定（2021年12月）
 - ブルドックソースグループ一部商品価格改定（2022年3月開示、6月実施）
 - プライム市場上場（2022年4月）



(百万円)

	21.3期 実績	22.3期 実績
売上高	17,708	13,300
売上原価	8,675	8,733
売上原価率	49.0%	65.7%
売上総利益	9,033	4,567
売上総利益率	51.0%	34.3%
販売費及び一般管理費	8,312	3,915
販管費率	46.9%	29.4%
営業利益	721	651
営業利益率	4.1%	4.9%
経常利益	985	1,013
経常利益率	5.6%	7.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	693	716
親会社株主に帰属する当期純利益率	3.9%	5.4%
EPS (円)	51.71円	53.48円
一株配当 (円)	35.00円	35.00円
配当性向 (%)	67.7%	65.4%
設備投資額	663	4,459
減価償却費	714	709
EBITDA	1,435	1,360

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

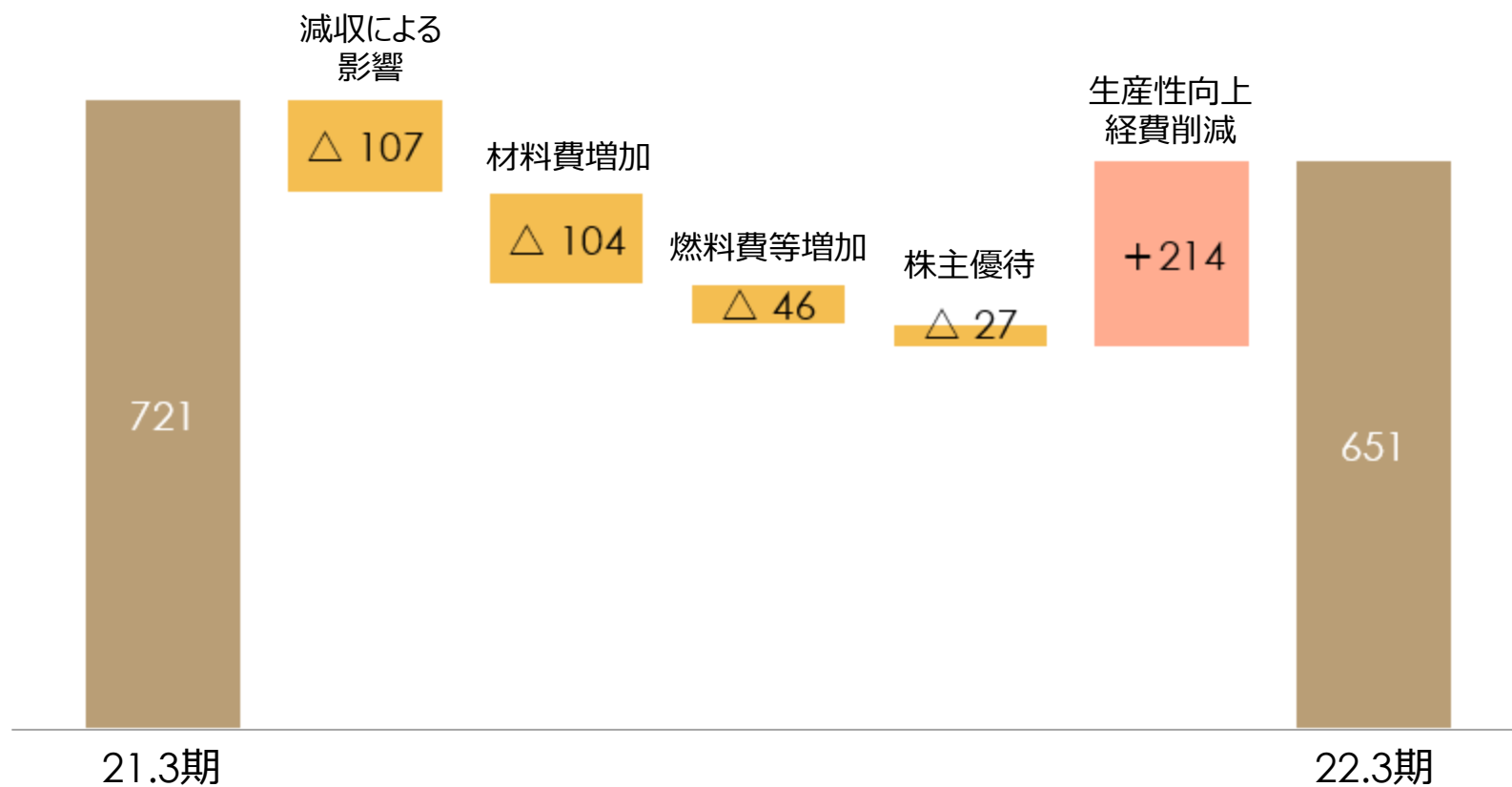
※21.3期実績数値は、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値であります。

(百万円)

	21.3期	22.3期		コメント	
	実績	実績	構成比		
家庭用商品	ソース類 ウスター・中濃・ とんかつ、専用 他	11,478	8,074	60.7%	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症による前期の内食需要急増の反動のため低調に推移 ● プロモーション強化のため、商品パッケージからホームページ特設サイト（レシピ）へ誘導。10万PV数を達成
	ドレッシング類 たれ・ケチャップ 他	2,903	1,815	13.7%	<ul style="list-style-type: none"> ● ドレッシング定番店舗数は前期比12.5%減、ノンオイルドレッシング市場縮小に伴い、「野菜のドレス」シリーズ売上前期比11%減 ● 2022年2月新発売「&Bull-Dog」たっぷり薬味焼肉のたれ計画比142%増
	計	14,381	9,890	74.4%	
業務用商品		3,326	3,410	25.6%	<ul style="list-style-type: none"> ● 中食・テイクアウト向け商品の売上前期比16.3%増、好調に推移 ● 海外輸出向けとんかつソース1.8Lの売上前期比90.1%増、好調に推移
合計		17,708	13,300	100.0%	

※21.3期実績数値は、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値であります。

営業利益 (百万円)



(百万円)

	21.3期 実績	22.3期		コメント
		実績	差額	
流動資産	9,979	9,793	△186	現金及び預金の減少
固定資産	16,826	19,969	3,143	建設仮勘定の増加
資産合計	26,805	29,763	2,957	
流動負債	3,970	7,317	3,346	設備投資に係る未払金の増加
固定負債	2,290	2,306	16	
負債合計	6,260	9,623	3,362	
純資産額	20,545	20,139	△405	その他有価証券評価差額金の減少
自己資本額	20,545	20,139	△405	
負債純資産合計	26,805	29,763	2,957	
自己資本比率	76.6%	67.7%	△9.0%	

(百万円)

	21.3期 実績	22.3期		コメント
		実績	差額	
営業活動によるキャッシュフロー	1,513	1,127	△386	売上債権の増加
投資活動によるキャッシュフロー	△165	△1,192	△1,027	有形固定資産取得による支出増加
財務活動によるキャッシュフロー	△774	△413	360	生産体制再構築に係る資金調達
現金及び現金同等物の増減額	574	△479	△1,053	
現金及び現金同等物期末残高	4,850	4,371	△479	



2. 2023年3月期業績予想及び施策

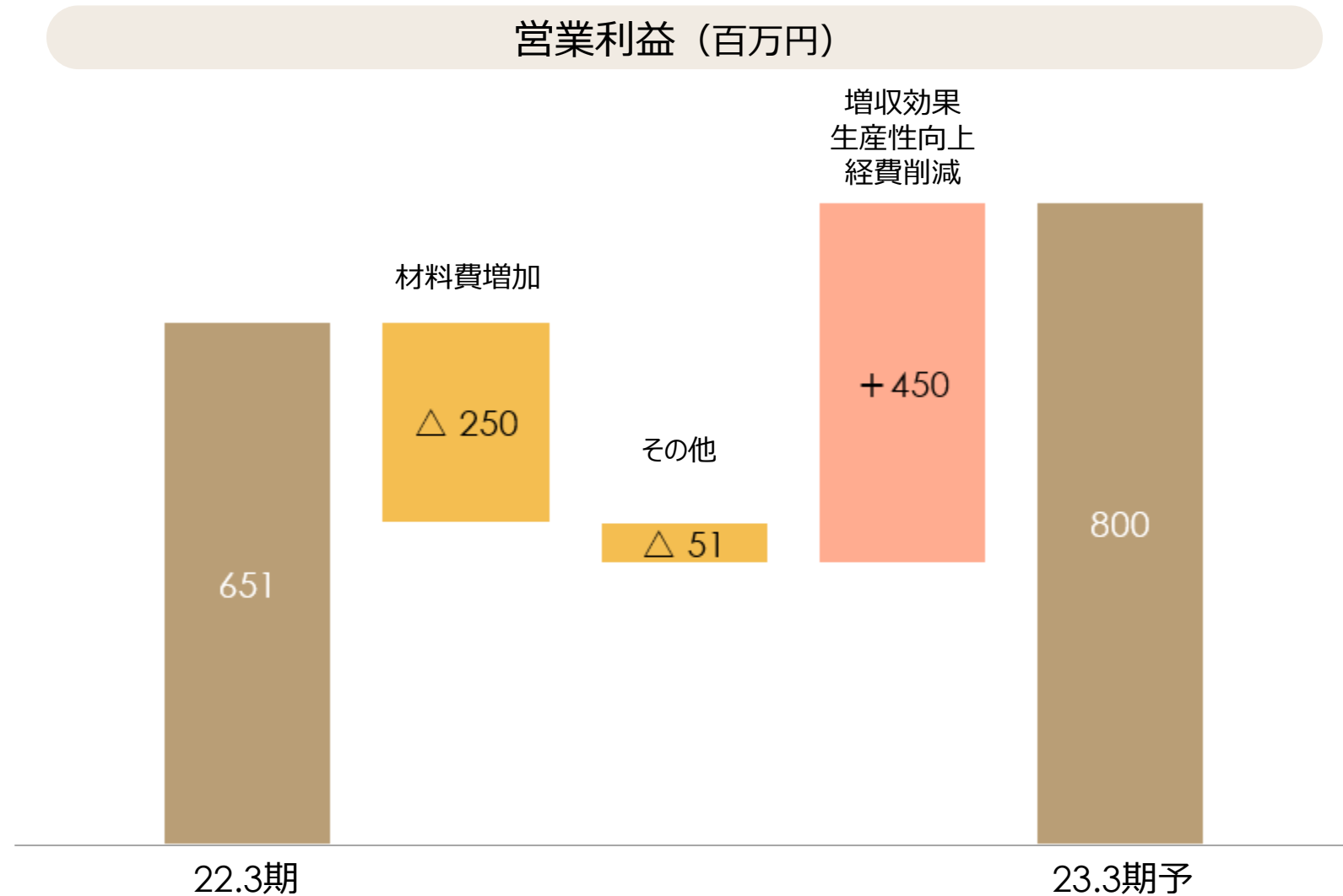
(百万円)

	22.3期 実績	23.3期 予想		
			増減額	増減率
売上高	13,300	13,750	449	3.4%
売上原価	8,733	8,790	56	0.6%
売上原価率	65.7%	63.9%	—	—
売上総利益	4,567	4,960	392	8.6%
売上総利益率	34.3%	36.1%	—	—
販売費及び一般管理費	3,915	4,160	244	6.2%
販管费率	29.4%	30.3%	—	—
営業利益	651	800	148	22.8%
営業利益率	4.9%	5.8%	—	—
経常利益	1,013	1,540	526	51.9%
経常利益率	7.6%	11.2%	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	716	970	253	35.3%
親会社株主に帰属する当期純利益率	5.4%	7.1%	—	—
EPS (円)	53.48円	72.68円	19.20円	35.9%
一株配当 (円)	35.00円	35.00円	—	—
配当性向 (%)	65.4%	48.2%	—	—
設備投資額	4,459	4,653	193	4.3%
減価償却費	709	760	50	7.2%
EBITDA	1,360	1,560	199	14.6%

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(百万円)

	22.3期 実績	23.3期 予想		コメント		
			構成比		増減率	
家庭用商品	ソース類 ウスター・中濃・ とんかつ、専用 他	8,074	8,140	59.2%	0.8%	<ul style="list-style-type: none"> ● 商品認知拡大に向けたプロモーション活動を実施 ● 「Jソース」アンバサダーにより100万人へメニュー発信 ● 120周年記念ポーチを宝島社とコラボ発売
	ドレッシング類 たれ・ケチャップ 他	1,815	1,880	13.7%	3.6%	<ul style="list-style-type: none"> ● 「&Bull-Dog」ドレッシング及びたれ市場獲得に向けた再チャレンジ ● 材料セット企画品による売上拡大
	計	9,890	10,020	72.9%	1.3%	
業務用商品		3,410	3,730	27.1%	9.4%	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務用専用ソース（お好み焼・たこ焼・焼そばソース）の売上拡大 業務用専用ソースの売上予算18%増を計画 ● 小袋等のデリカ向け商品拡充により テイクアウト・中食市場の新規ユーザー、 新規メニューを獲得
合計	13,300	13,750	100.0%	3.4%		



◆ グループ各社で売上拡大のための施策を実行

ブルドックソース

- 業務用・家庭用各種製品
 - ・業務用商品：デリカ向け商品拡充
 - ・& Bull-Dog：商品大幅リニューアル
 - ・Jソース：消費者向けプロモーション強化継続

➡ 提案力強化

- 価格改定による利益の確保



& Bull-Dog

イカリソース

- 超減塩ソース
- ➡ 近年高まっている健康志向に応える減塩製品を拡充
- 季の皿
- ➡ ドレッシング市場強化に向けて高付加価値品のラインアップ拡充



超減塩ソース



季の皿

海外市場

- 富留得客食品(上海)有限公司
 - ・連結子会社化
 - ・中国専用家庭用シリーズの発売
 - ・現地顧客向けソースのラインアップ強化



中国専用ソース

➡ 中国市場においてブルドックブランドの認知、浸透

- 海外市場でのプロモーション活動実施
(現地でのサンプル配布・展示会出展 等)

サンフーズ

- 冷凍・冷蔵お好み焼き
- ➡ 伸長している冷凍食品市場への商品展開



冷凍・冷蔵お好み焼き

◆ ガバナンスを強化しグループの組織力を高めるための体制を構築

ガバナンス強化

■ リーガル・ガバナンス室設置

プライム市場に対応したガバナンス強化

- ・ コーポレート・ガバナンスコードに対応する業務遂行
- ・ コーポレート・ガバナンスコードに対応した体制作り、方針・報告書対応等

コンプライアンス維持

- ・ コンプライアンス維持のための社内実状把握
- ・ 法改正への準備・対応
- ・ 取引先調査及び契約確認によるビジネスリスク回避
- ・ 知的財産権の獲得・保護等によるビジネスリスク回避、市場優位性の向上



関係会社管理体制強化

■ 品質保証室設置

品質を第一に「安心・安全・信頼」をさらに全グループで強化するための管理体制を構築

関係会社品質管理体制の現状確認と改善

- ・ イカリソース品質保証部・事業計画の進捗確認、工程異常・申し出への対応確認等
- ・ サンフーズ現地調査による管理体制の確認

事業計画達成に向けた販売体制の強化

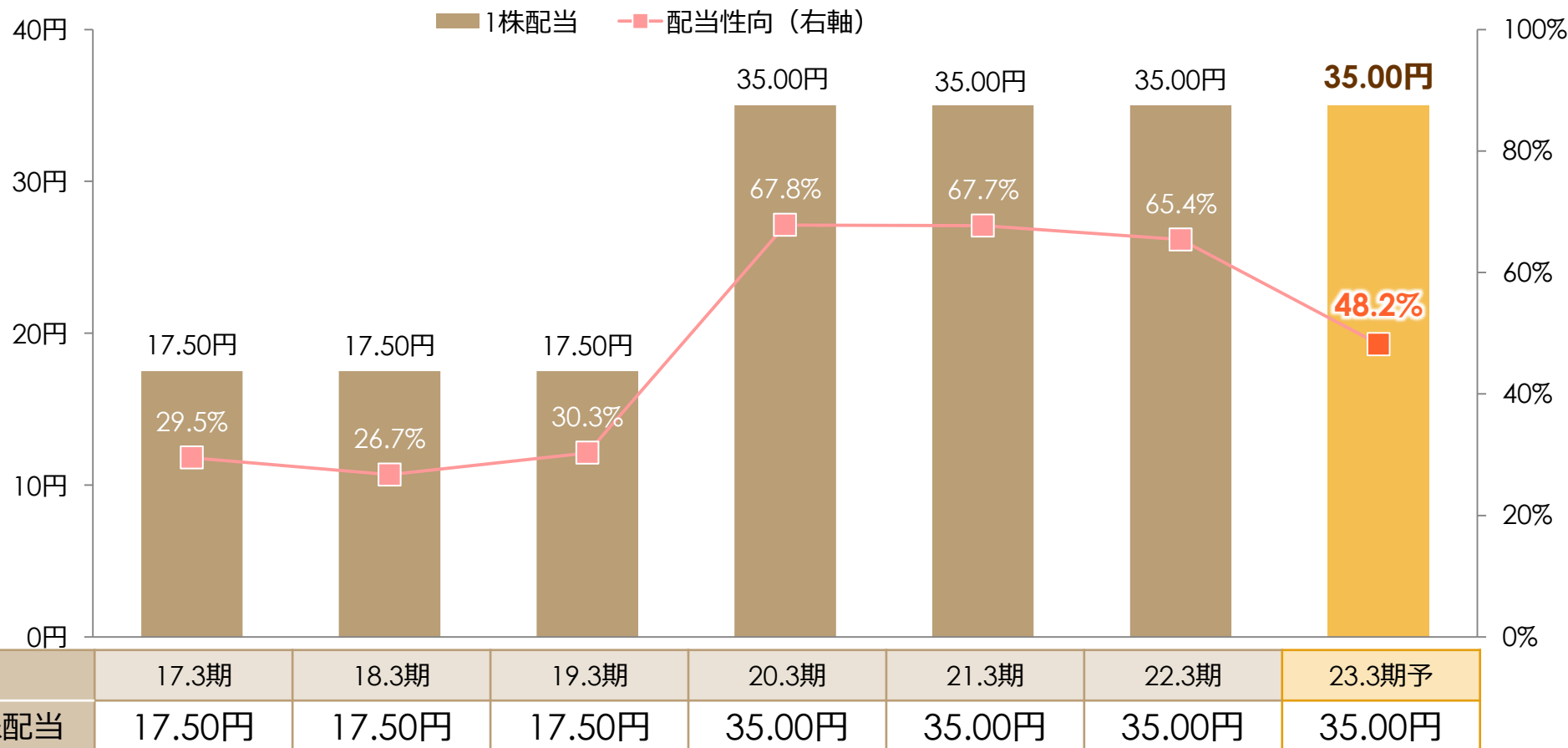
■ 営業戦略室設置

ブルドックソース及び重要子会社の事業計画達成のため、販売戦略を策定



将来に向けた資本政策も勘案し、23.3期は35円配当を継続予定

- 23.3期は1株配当予定額は35円、配当性向は48.2%を予定
- 2021年10月から2022年3月までで1.64億円（79,300株）自己株式取得



※19.3期以前の数値は以下の株式併合・分割を換算して修正

・株式併合：2016年10月1日付で10株⇒1株

・株式分割：2019年8月1日付で1株⇒2株

A bowl of fresh fruits including corn, apples, and tomatoes, with two bottles of B-UP120 supplement overlaid. The bottles are dark with white caps and labels. The label on the right bottle features a circular logo with a face and the text 'B-UP120' and 'ビタミン剤' (Vitamin Supplement). The text '3. 中期経営計画「B-UP120」' is overlaid on the image.

3. 中期経営計画「B-UP120」

B-UP120

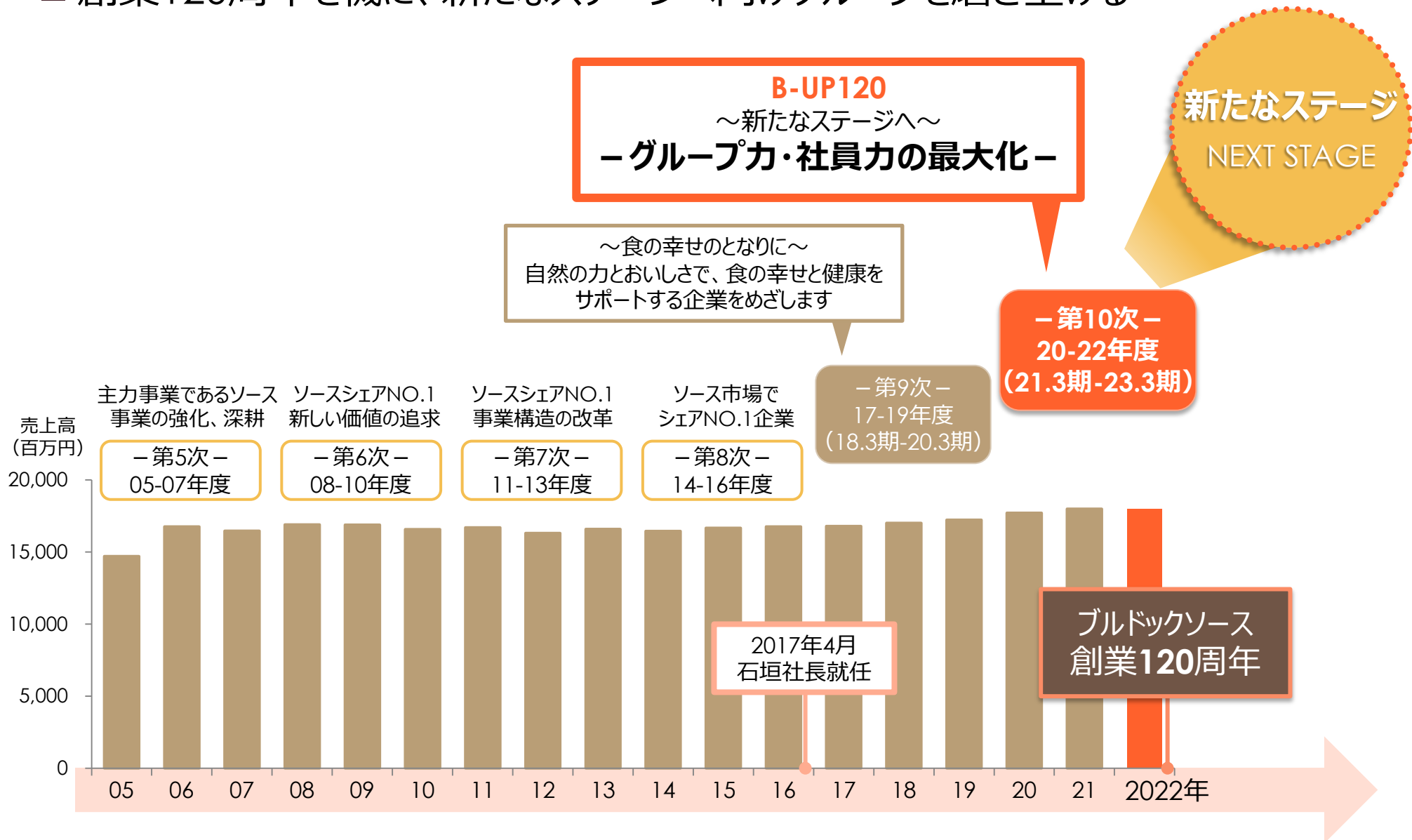
Brush Up Plan 120

～新たなステージへ～

ーグループカ・社員力の最大化ー

創業120周年（中計最終年度の2022年度）を機に、
新たなステージへ向けグループを磨き上げる Brush UP

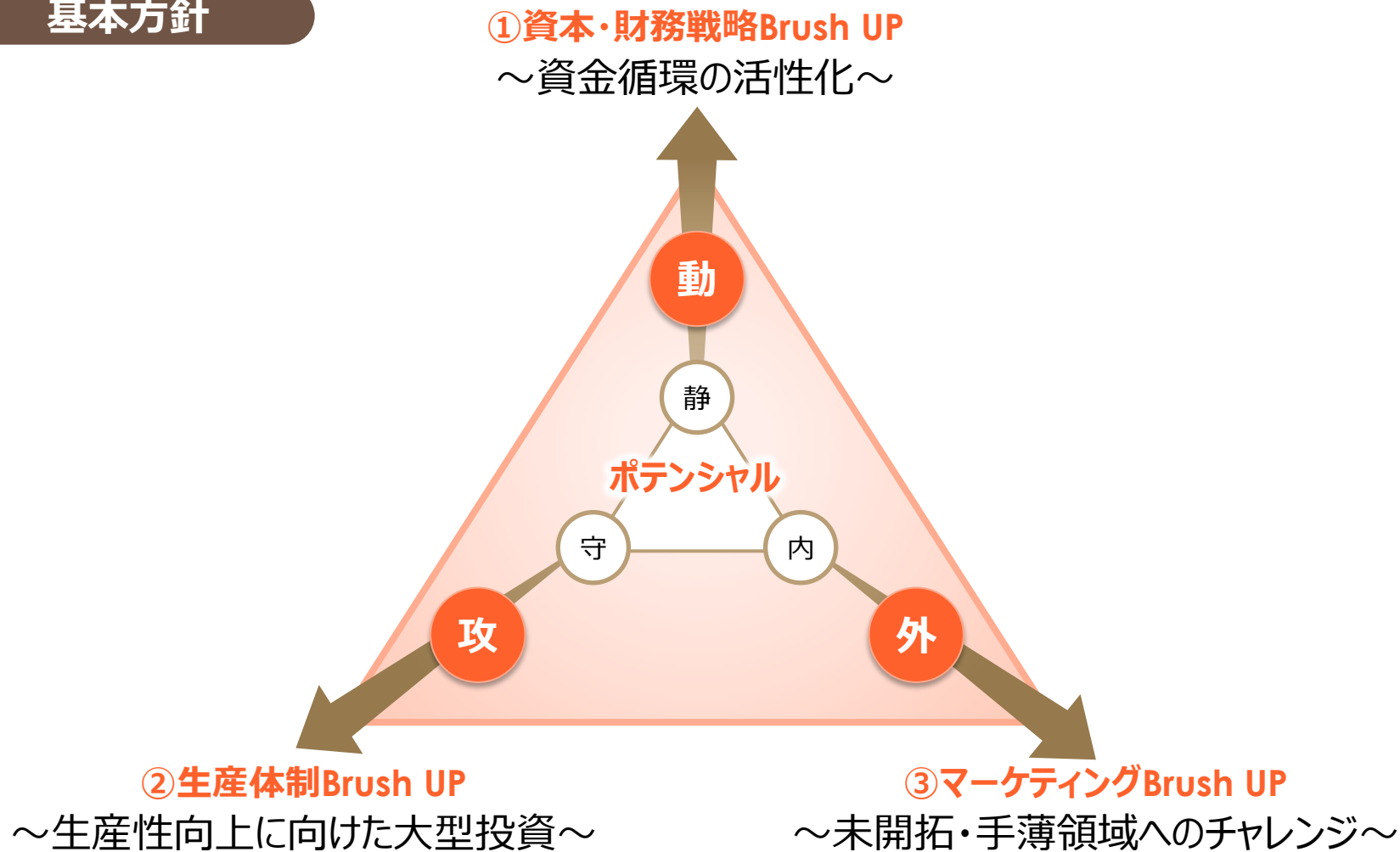
■ 創業120周年を機に、新たなステージへ向けグループを磨き上げる



目指す姿

グループカ・社員力の最大化

基本方針

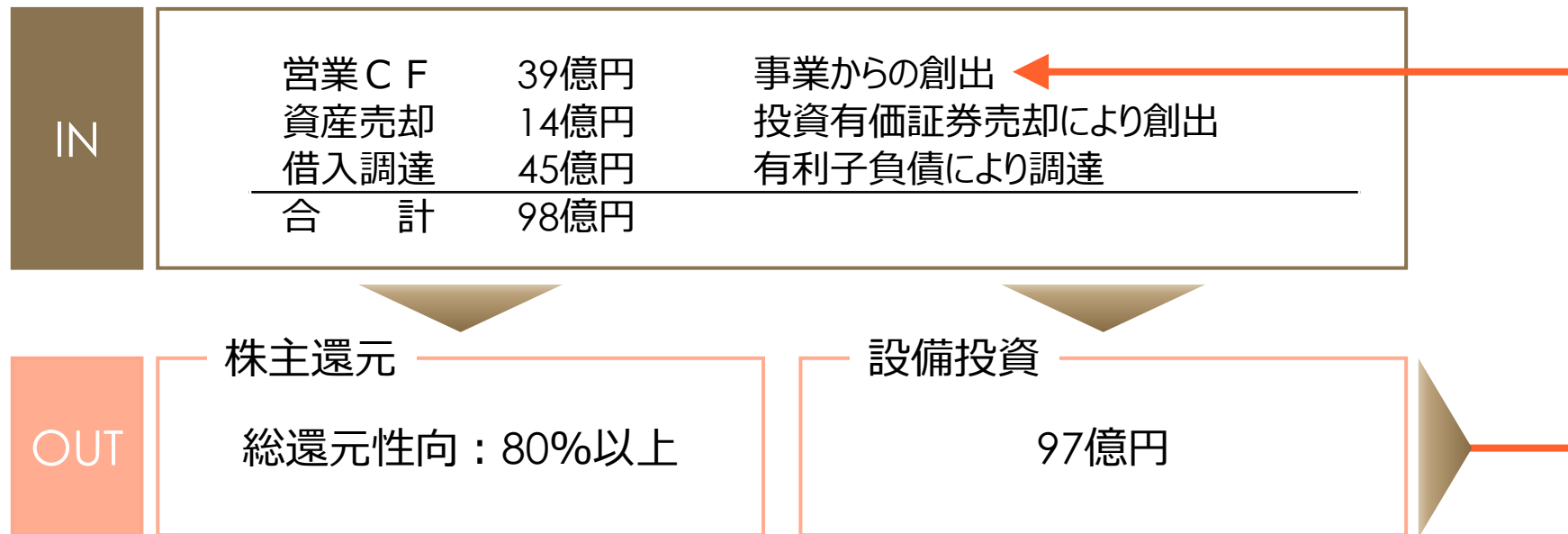


数値目標

項目	目標
1. 総還元性向	80%以上 (23.3期)
2. 設備投資	97億円 (累計)
3. EBITDA	16億円 (23.3期)

CFと資金配分

第10次中期経営計画 B-UP120期間中の累計CF



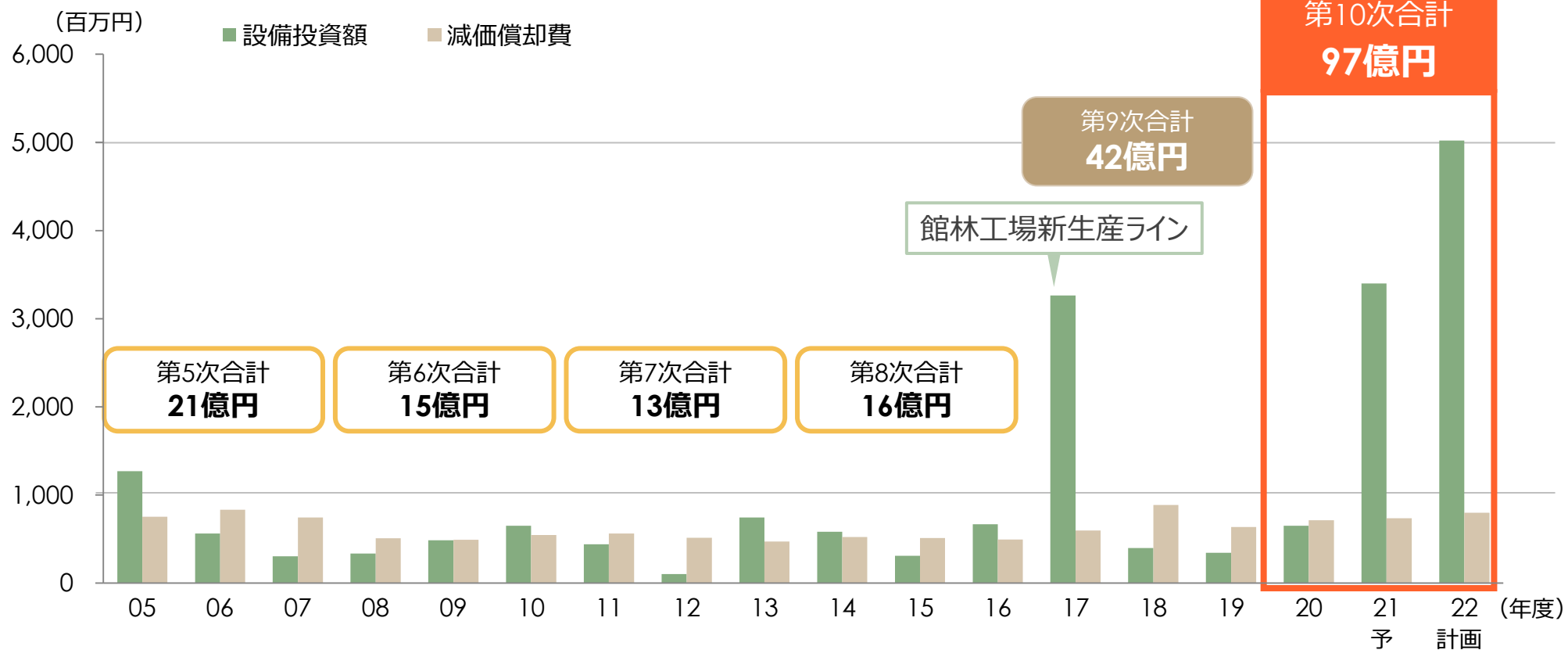
■ 資金循環の活性化

OUT	◆ 株主還元の推進：総還元性向80%以上
	◆ 設備投資：97億円
IN	◆ 保有株式の見直し：14億円 株式保有金額15%削減（84億円→70億円）
	◆ 有利子負債による調達：45億円

項目	23.3期
有利子負債合計	4,550百万円
DELシオ	0.22倍
自己資本比率	66%

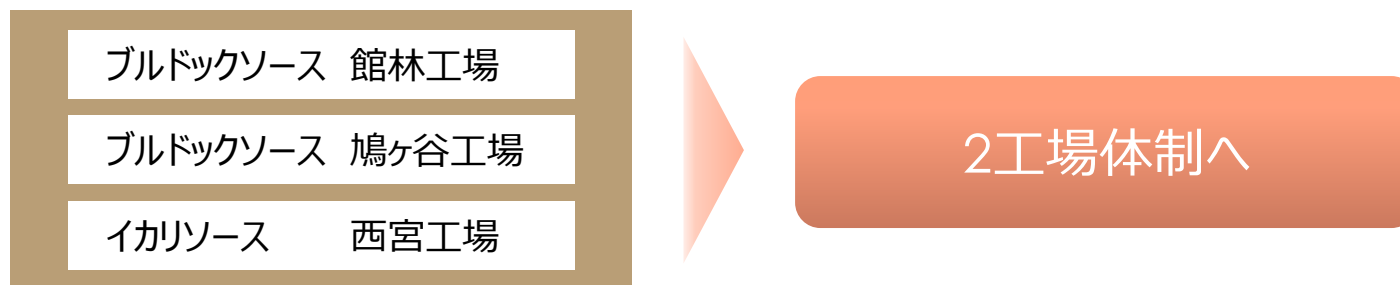
■ 生産性向上に向けた総額97億円の大型投資を実施

- 生産体制Brush Up : 85億円
 <竣工予定> 23年度中
- 設備メンテナンス : 12億円



■ 営業利益換算で40%の生産性向上を目指す

◆ 3工場を2工場へ



算出方法	
(3.5億円) 効率アップ効果	÷ (8億円) 23年3月期営業利益

● 新体制により実現する効率化

項目	効率アップ要因	効率アップ効果予定額 (3工場→2工場)	金額
原材料費	・ 原材料副資材の共通化・ 統合による価格交渉	65億円→64億円	1億円
外注加工費		1億円→0.5億円	0.5億円
物流費	・ 拠点再配置による配送費増	9.6億円→10.6億円	△1億円
鳩ヶ谷工場閉鎖削減分		0.9億円→0億円	0.9億円

● 省力化投資により実現する効率化

項目	効率アップ要因	効率アップ効果 (3工場→2工場)	金額
労務費	・ 省力化投資により実現	9億円→6.9億円	2.1億円

■ 未開拓・手薄領域へのチャレンジ

業務用の拡販

中食業界へのアプローチ

- ・ グループシェアの低い中食業態へ小袋・ピロー・PB商品で徹底アプローチ

数値目標：10%アップ、4億円増
(20.3期予想比)

ドレッシング類市場の強化

商品Brush Up

- ・ オウンドメディア事業によりグループブランドのファンを増やす

数値目標：4%アップ、1億円増
(20.3期予想比)

エリア展開

広島：サンフーズをグループ化

- ・ 広島の有名お好み焼ソースブランドを販売面でのグループシナジー効果を発揮して売上拡大

数値目標：2億円獲得

海外展開

中国市場の開拓

- ・ 上海現法からの展開
- ・ 日本で培ったノウハウを活かし中国の人々にソースの美味しさを広める

数値目標：中国で売上1億円獲得

ソース

創業120周年からの、新たなステージ

自然の恵みのおいしさで、
食の幸せを世界に広げる
ブルドックソースグループ

最大化された
グループカ・社員力

第10次中期経営計画
B-UP120

2021.3期～2023.3期中計目標

資本・財務戦略Brush UP

資金循環の活性化

2022.3期での進捗

- ・保有株式一部売却（5.8億円）
- ・2021年10月から2022年3月
1.64億円（79,300株）自己株式取得



生産体制Brush UP

生産性向上に向けた総額84億円の大型投資
3工場から2工場体制へ再編し
営業利益換算で40%の生産性向上を目指す

- ・基本実施設計施工契約締結完了
- ・2022.4着工、計画通り進行中



マーケティングBrush UP

未開拓・手薄領域へのチャレンジ

- ・業務用の拡販
- ・ドレッシング類市場の強化
- ・エリア展開
- ・海外展開

- ・デリカ、テイクアウトメニュー提案強化による新規売上獲得
- ・ドレッシング定番配荷店舗数減少
ノンオイル市場縮小により野菜のドレス販売不振
- ・断続的な「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の
発令の影響により、外食店売上が減少し苦戦
- ・中国専用家庭用300ml角ボトル商品発売



(単位：百万円)

	22.3期 実績	B-UP120 計画			20.3期→23.3期	CAGR
		21.3期計	22.3期計	23.3期計		
売上高	13,300	17,650	17,800	18,000	+ 765	1.5%
営業利益	651	620	690	800	+ 161	7.8%
経常利益	1,013	950	1,020	1,590	+ 550	15.2%
当期純利益	716	650	700	1,090	+ 398	16.4%
EBITDA	1,360	1,420	1,490	1,600	+ 324	7.8%
営業利益率	4.9%	3.5%	3.9%	4.4%	+ 0.7%	
売上高EBITDA比率	10.2%	8.0%	8.4%	8.9%	+ 1.5%	
ROE	3.5%	3.2%	3.4%	5.3%	+ 1.8%	
自己資本比率	67.7%	77%	71%	66%	△10.7%	
DEレシオ	0.0	0.0	0.1	0.2		
設備投資額	4,459	700	2,700	5,020	3期累計額→	8,420
減価償却費	709	800	800	800	3期累計額→	2,326

	22.3期実績	21.3期計	22.3期計	23.3期計	20.3期→23.3期	CAGR
営業CF	1,127	1,270	1,330	1,250	+ 6	
投資CF	△1,192	△460	△2,470	△4,180	△3,910	
財務CF	△413	△520	1,440	1,630	+1,922	
現金同等物増減	△479	290	300	△1,300	△1,982	
期首残高	4,850	4,276	4,566	4,866	+1,272	
期末残高	4,371	4,566	4,866	3,566	△ 710	

※「B-UP120」計画数値は、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値であります。

4. 会社概要



「幸福感を味わえる商品をお客様に提供すること」

- ◆ 「お客様やそのご家族が毎日元気で暮らしていただけること」こそが私たちグループが果たすべき使命と考えるからです。
- ◆ ブルドックソースグループは、この社会的使命を果たし、全てのお客様にその価値をご提供できるよう全社員一丸となって「食の幸せのとなりに」をそのスローガンとし、努力してまいります。
- ◆ 今後ともよりいっそうのご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。



商号	ブルドックソース株式会社 【英文名】BULL-DOG SAUCE CO.,LTD.
創業	1902(明治35)年 食料品卸商三澤屋商店を開業 (1905年 ソースの製造・販売を開始)
設立	1926(大正15)年 9月21日
事業内容	ソース、その他調味料の製造・販売
資本金	10.4億円 [2022年3月期]
従業員数	連結：318名 [2022年3月末現在]
売上高	連結：133億円 [2022年3月期]
関連会社	<ul style="list-style-type: none"> ■ イカリソース株式会社 (100%出資) ■ 株式会社Bullフーズ (100%出資) ■ サンフーズ株式会社 (100%出資) ■ 富留得客食品(上海)有限公司 (100%出資)



Bull-Dog

食の幸せのとなりに。

洋食はいまや、日本の文化です。西洋の料理そのものではなく、日本人の口に合うよう進化した料理です。私たちブルドックソースは、そんな洋食に合ったソースを開発し、日本の洋食を支えてきたと自負しています。

時代が変わり、味覚の嗜好が変わっても、それに合わせたソースをお届けし続けることで、いつも「食の幸せのとなり」にいたいと考えています。





幸福感を味わえる商品の提供を通じて未来の笑顔とすべての人の健康に貢献します。

テーマ	具体的な施策	関連する目標
安全・安心な商品開発	<ul style="list-style-type: none"> 健康にこだわった商品の開発 素材にこだわり自然の恵みを生かした商品の開発 	 
多様性を尊重した人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが働きやすい職場づくり 社員力最大化のための能力開発 	  
気候変動の緩和	<ul style="list-style-type: none"> 生産段階におけるCO₂排出削減 再生可能なエネルギーの利用 	  
持続可能な原材料の調達	<ul style="list-style-type: none"> 人権、労働、環境に配慮したサプライチェーンの取り組み 	     
資源循環の推進	<ul style="list-style-type: none"> サステナブルパッケージへの切り替え 減量(リデュース)・再使用(リユース)・再生(リサイクル)への取り組み フードロスの削減 	   
食と健康をテーマにした食文化の啓発	<ul style="list-style-type: none"> 食やソース文化の啓発 次世代育成支援 地域社会への貢献 	  

洋食が始まる明治期に創業し、日本の食生活とともに成長

創業120周年

プライム市場上場



ブルドックソース

サンフーズ株式会社

株式を東京証券取引所市場
第一部銘柄に指定
サンフーズ株式会社をグループ化

新ブランド「& Bull-Dog」発売

うまソース発売
鳩ヶ谷工場・
館林工場
FSSC22000取得



2010年モンドセレクションの金賞受賞



2022

2021

2019

2018

2017

2015

2014

2012

2010

2009

2005

1998

1990

1983

1981

1973

1970

1966

1964

1963

1953

1951

1935

1929

1912

1909

1905

1902

1896

中国現地法人「富留得客(北京)商貿有限公司」設立

イカリソースをグループ化

館林工場を新設。鳩ヶ谷と館林の2工場体制

イカリソース特許登録

中国現地法人
富留得客食品（上海）
有限公司設立

株式を東京証券取引所市場第二部に上場

ブルドックソースグループとしてスタート

ノンオイルドレッシング「野菜のドレス」発売

業界初のビタミン入り低塩ソース「健康ライフ」発売



西宮工場竣工

九州工場竣工

業界初のプラスチック容器を採用した「ポリパック」発売

唐辛子の辛味成分を抽出する特許取得

業界として日本初の全自動びん詰めラインを設置し稼働

大阪市此花区伝法に工場を設立



イカリソース

IKARI SAUCE CO., LTD.



鳩ヶ谷工場



とんかつソース発売

埼玉の鳩ヶ谷に工場を新設

現在の茅場町交差点に
新社屋が完成

「ブルドック」の商標を登録
「NO.1特製ブルドックソース」として販売

犬印ソースとして
自社ブランド商品を製造

創業者、初代小島仲三郎は
日本橋に当社の前身である
三澤屋商店を創業

イカリソース誕生

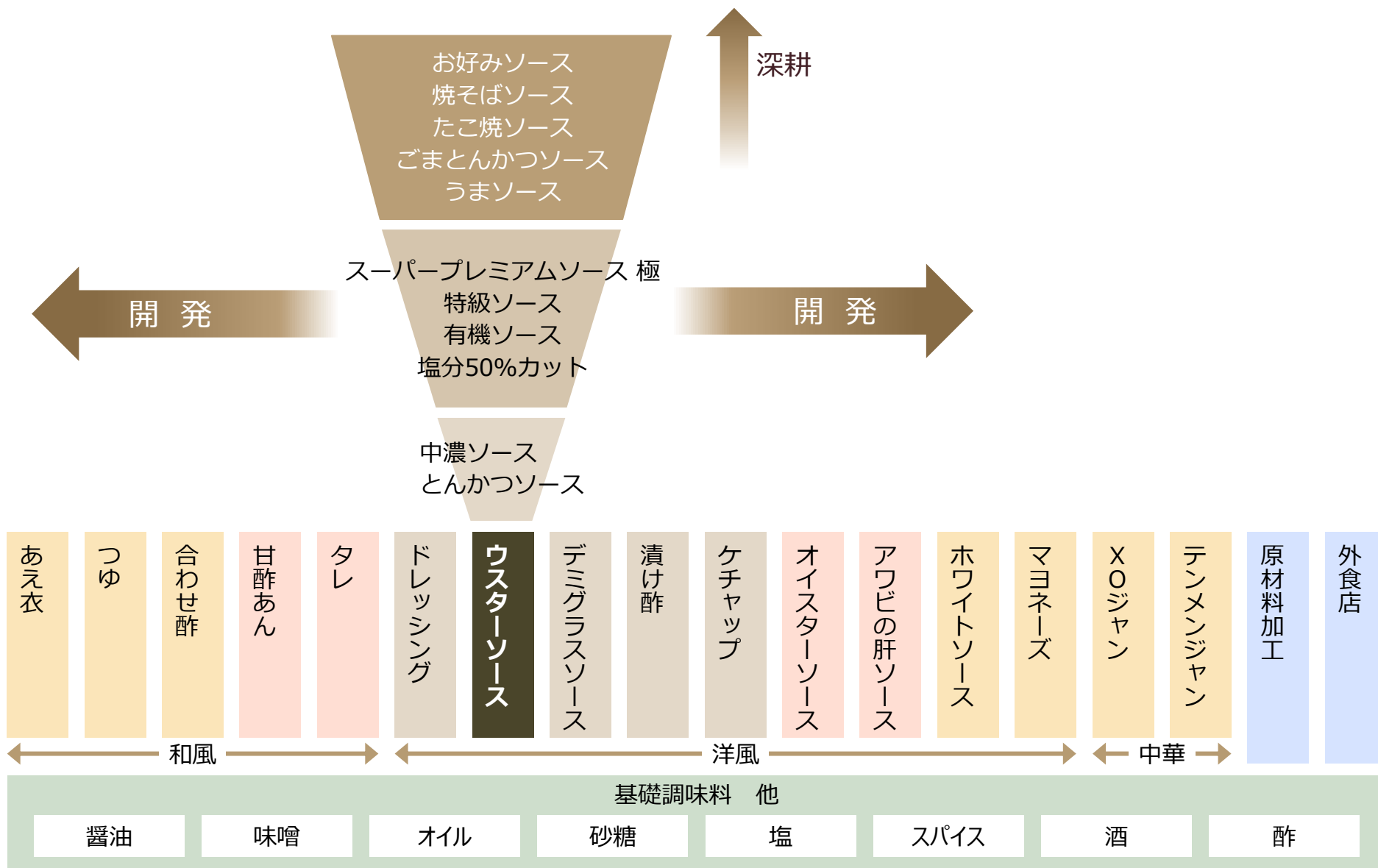
本格的ソースとしては、国産第1号となった「錨印ソース」を発売

2022年、ブルドックソースは創業120周年を迎えます



私たちは 創業120周年記念のコンセプト STEP120 に基づき
明るくのびのびと豊かな気持ちで
健全な精神とチャレンジ精神をもって
私たちの将来とグループの将来を話し合い、考え、
それを皆に伝えることによって
真に「自然の恵みのおいしさ、食の幸せを世界に広げる」組織をつくります。

	主な製品	パッケージ
<p>家庭用商品 ソース類 (ウスター・中濃・ とんかつ、専用)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ レギュラーソース ◆ (ブル/イカリ) ◆ お好みソース(サンフーズ) ◆ Jソース(ブル) 	
<p>家庭用商品 ドレッシング類 たれ・ケチャップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ お好み村材料セット(ブル) ◆ & Bull-Dog (ブル) ◆ 季の皿(イカリ) ◆ 野菜のドレス (イカリ) 	
<p>業務用商品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 小袋、1L、1.8L、10L、20L ◆ 他PB多数(ブル/イカリ) 	



■ たくさんの自然素材の力を引き出して、安心な商品を作っています。

レギュラーソースは食品添加物を加えておりません！

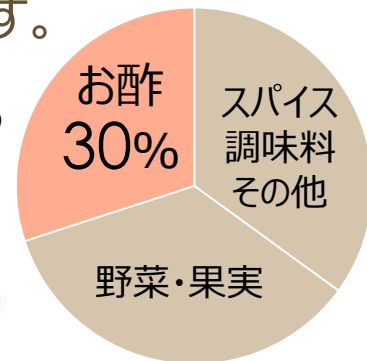
10種類以上のスパイス

主なソースにはと唐辛子や生姜をはじめ、10種類以上のスパイスがブレンドされています。ブレンドのバランスがソースの味の秘訣に！



お酢が約30%も入ってます。

ソースはその30%がお酢できています。疲労回復や食欲増進に効果があると言われるお酢。ソースの味を引き締めるだけでなく、防腐・殺菌の効果もあります。



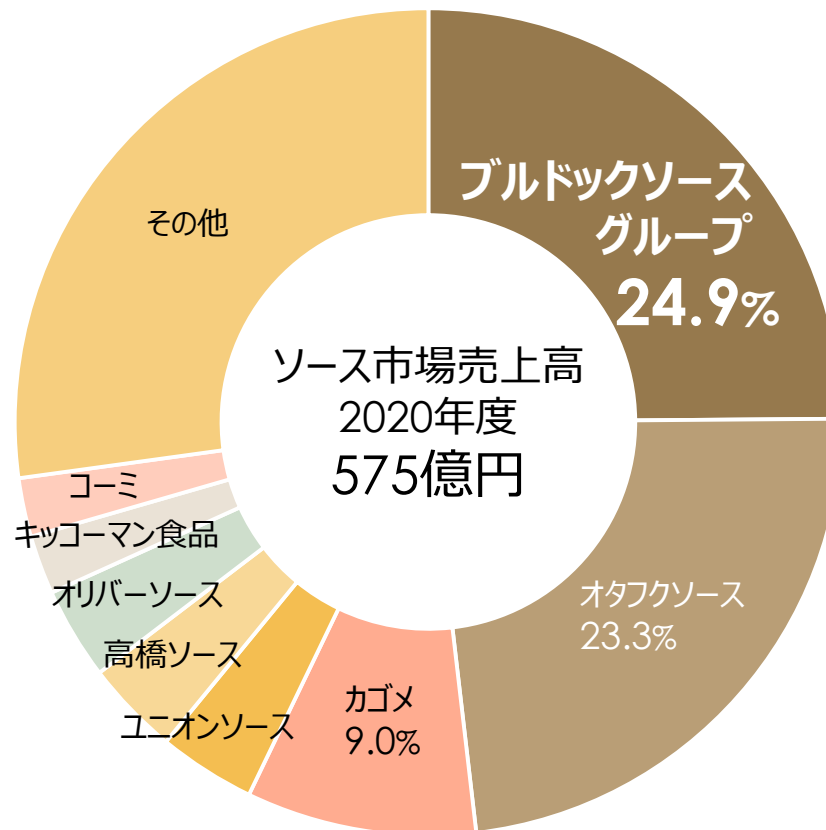
原材料に占めるお酢の比率

ソースは、かける野菜・果物！

ソースには、トマト、たまねぎ、リンゴなどの野菜や果物が豊富に含まれています。その味が自然な甘さや酸味となり、ソースのおいしさとなっているのです。自然素材のチカラとおいしさを存分に引き出すため、素材そのものの味わいや風合い、色合いなどを出せるよう、日々の研究開発に注力しています



ソース市場 メーカーシェア



出所)「2022年食品マーケティング便覧No.5」富士経済



■ 食品安全への取り組み

- お客様やご家族が毎日元気で暮らせるために、安全・安心・信頼できる企業であり続ける事を前提として、グループで食品安全を最優先に企業活動を取り組みます。



毎日安心してお召し上がりいただくために、徹底した衛生管理がなされた工場で生産されています。原料についても素材にこだわり品質をチェックし合格したものだけを受け入れております。素材の力を引き出しておいしいものを届けたいその思いから、主力商品は、カラメル色素・増粘剤・化学調味料・甘味料などの食品添加物を加えておりません。総合的な衛生管理システムで生産から出荷までの製造工程を厳しく管理しております。

食品安全システム

ブルドックソース、イカリソースは、
FSSC22000を取得致しました。

ブルドックソース鳩ヶ谷工場・館林工場、及びイカリソース西宮工場は、食品安全FSSC22000を取得しました。

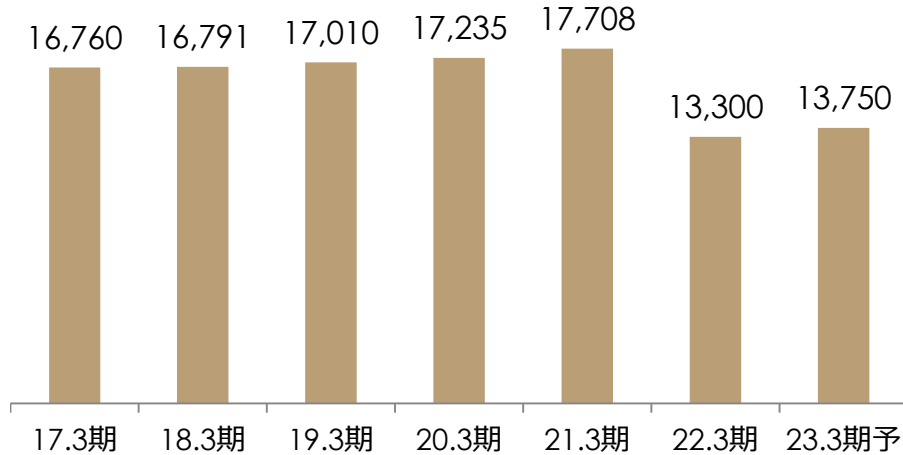
FSSC(Food Safety System Certification)22000は、食品製造組織に向けた、新しい食品安全システムの国際規格です。



食品安全方針

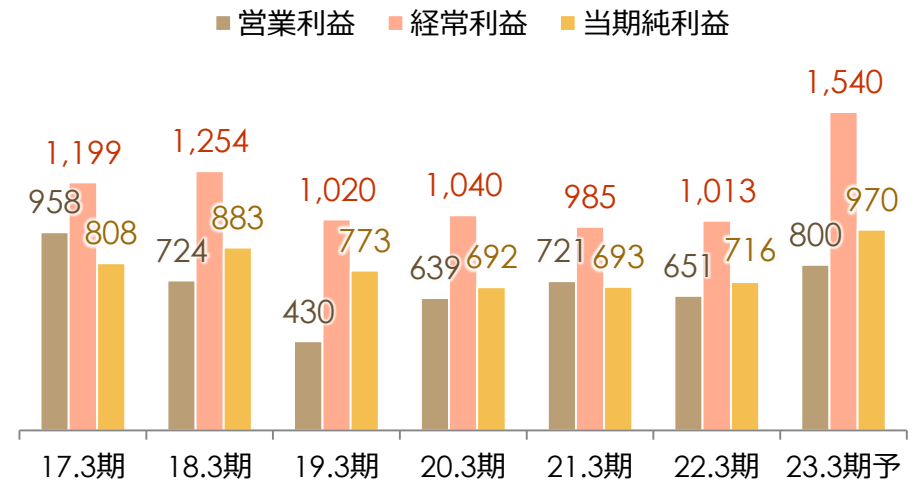
1. 食品安全関連法規制及び当社が同意したお客様要求内容について遵守します。
2. フードチェーンの一員として常に食品安全を優先し、お客様との食品安全に関するコミュニケーションを大切にして食品安全に影響する問題を全従業員に周知徹底します。
3. 食品安全目標を設定し、目標達成に向けた取り組みを継続的に実施します。
4. 食品安全の意識・知識・行動を身につけるため全従業員に教育を実施します。
5. 食品安全行動を実施するために、組織と具体的な行動規定・手順を策定します。
6. 定期的なマネジメントレビューを実施し、法規制対応・方針・規定・手順等の有効性確認と見直しをして継続的且つ適切に実行します。

売上高 (百万円)



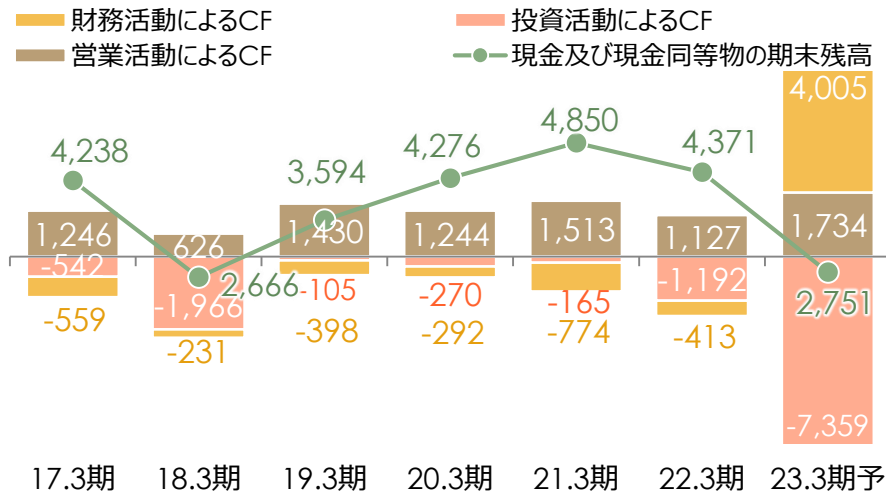
※22.3期以降は、収益認識会計基準適用後の数値を記載しております。

利益 (百万円)

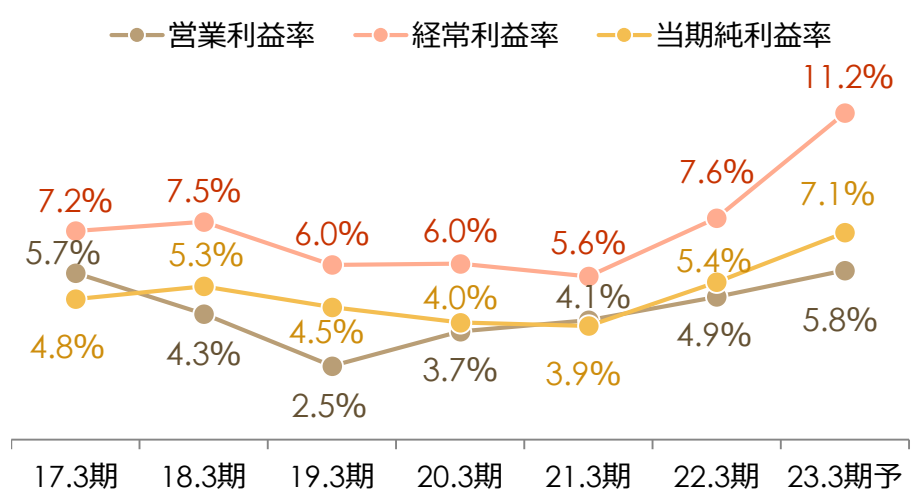


※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

キャッシュフロー (百万円)

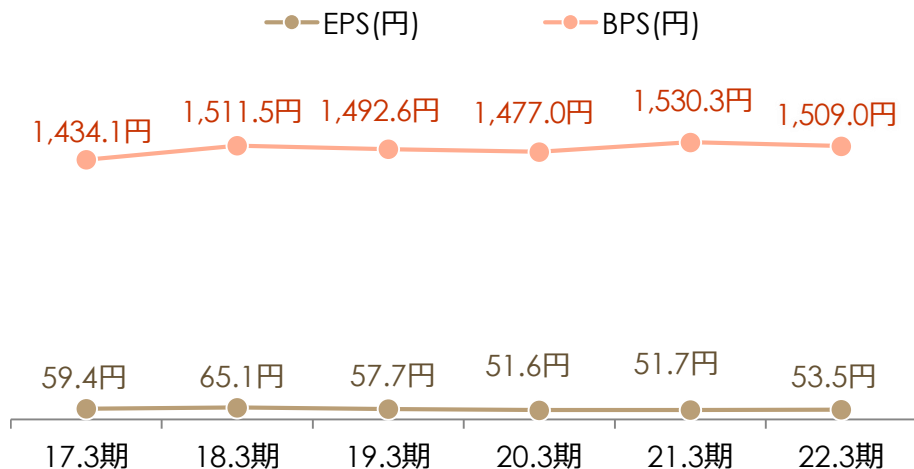


利益率 (%)



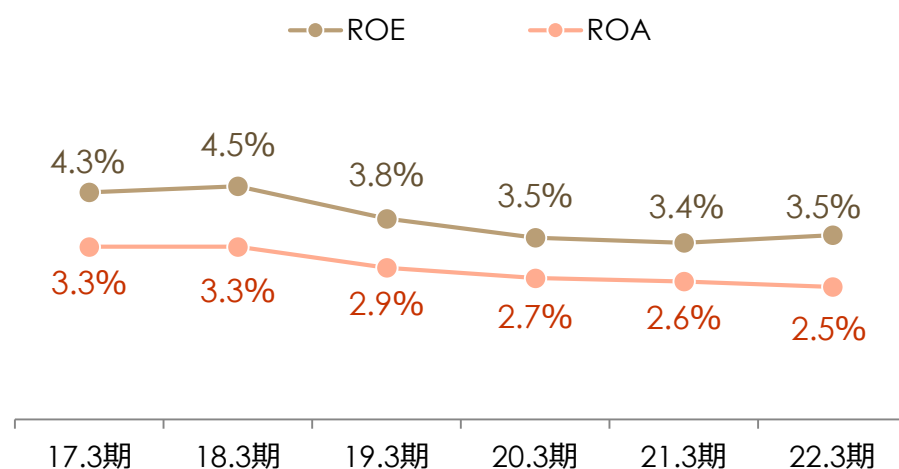
※当期純利益率 = 親会社株主に帰属する当期純利益率
 ※22.3期以降は、収益認識会計基準適用後の率を記載しております。

EPS・BPS (円)



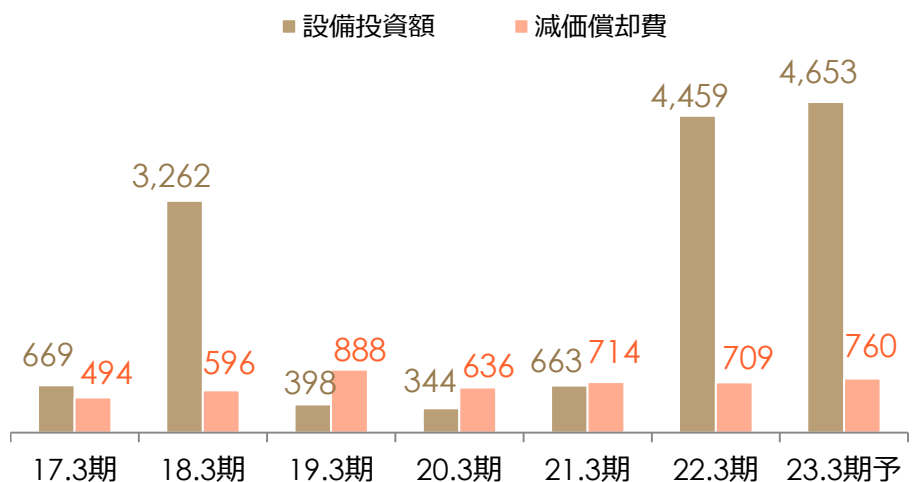
※19.3期以前の数値は以下の株式併合・分割を換算して修正
 ・株式併合：2016年10月1日付で10株⇒1株
 ・株式分割：2019年8月1日付で1株⇒2株

ROE・ROA (%)

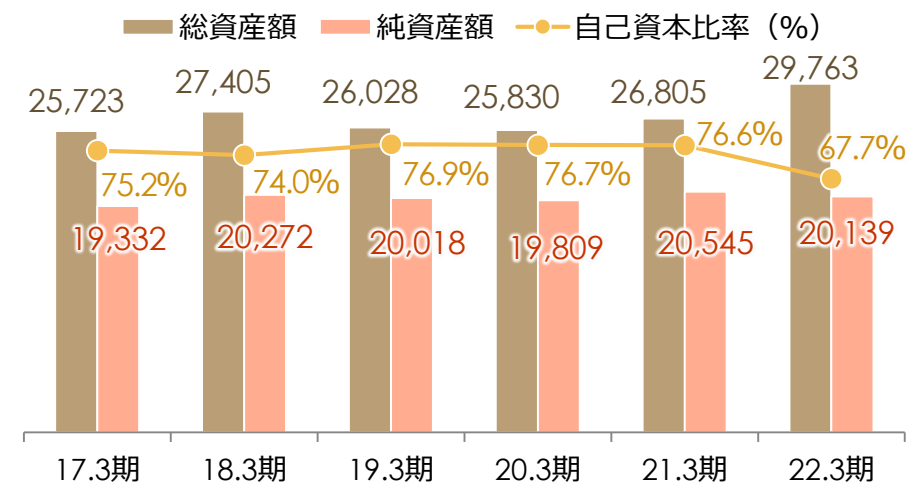


※ROA = 当期純利益 / 期中平均総資産額

設備投資額及び減価償却費 (百万円)



総資産額・純資産額、自己資本比率 (百万円、%)



業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

その他留意事項

資料内数値は百万円未満切捨て表示し、百分率は元データから算出しております。